【ねがいましては】

平成１６年３月１日
第１６３号　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　*KYOWA　SCHOOL*

「あたりまえなことを」

「えーん」

いきなり響いた泣き声に「えっ！」と振り向くと、女の子が泣いています。

私が都内の小学校へ出向講師として出向いた、ある日の給食時間の出来事です。

４年生のそのクラスは、１年前に教師になったばかりの新任男性教師のクラス。どうやら同じクラスの男の子の心ない『ひとこと』が、彼女を泣かしてしまったようです。慌てて飛んでくる先生。「ほら、あやまんなさい。」と促す先生。「ごめんね！これでいいんでしょ！」・・・・。

『かちん』と私の心の中。担任の先生は冷静に対処しようとしているのか、きつくは叱りません。私がいるので遠慮でもしているのか。それともいたって普通の対応なのか。そこへ私の前に座っていた女の子が言ってくれました。

「そんな言い方ないでしょ、ちゃんと謝りなさいよ。」

『やったー！』わたしは心の中でそう叫ぶと、その子の勇気ある一言でそれまでのいやな気持ちが、すーっと消えてゆくのを感じました。

先ほど泣いた子は、給食が始まり、私が牛乳のふたを開けることが出来なくて困っていると、黙って牛乳を取り上げて開けてくれた子でした。「ありがとうね。」と私。

「ちゃんと謝りなさいよ。」と促した子は、今まで何度も転校を繰り返してきたそうです。お父さんの転勤だそうです。私自身が小学生だったら、きっと言えなかっただろうな。素晴らしい子に会えたな。

人の心を傷つける、何気ない一言。それがどれだけ大きな犯罪であるか。それを大切な心の勉強として、しっかりと子らへ伝えること。けっして二度はあってはならない言葉の暴力。わたしは一貫してこの小さな教室で、『こころの勉強』を中心に歩いてきました。ほんのわずかでも『その一言』が『次への一言』につながるようなことがあると、わたしは心も表情も仁王像のようにして訴えてきました。

誰もがわかるはずの『善いことと悪いこと』。それを承知していながら起こしてしまう行動。これらが今の学校社会では見逃されがちになっているのでは、と思わざるをえないのは私だけ？

『あたりまえなこと』、そのあたり前なことがあたり前な風景として見られること。

『そんな学校あったらいいよね。』KYOWA SCHOOL のホームページにあらわれてくる言葉。

そんな学校かもね。と、受験生達が見せるもの。

Y ちゃんはこの半年で『辞書引きのプロ』に・・・。丸一日かけてじっくりと調べ上げて行くその根気。これからが思いっきり勉強大好き人間へのスタートです。これまでほとんどと言っていいくらい『質問』がなかった。でも今では質問回数の王者。その気持ち忘れないでね。本物の勉強を見つけることができてよかったね。

「先生、英語の長文楽しくなってきた。」良かったね A ちゃん。でも、君は流されやすい心の持ち主だから、もっともっとしっかりすることだ。心に根っこをつくるんだ。

親の反対を押し切ってまで、希望の高校を粘り強く目指してきた S ちゃん。結果的には安全を優先して変更してしまったけれど、あなたが最も勉強に対する心を変化させた子です。あの臆病すぎるくらい臆病だった表情は、今はどうだろう、自分の夢に向かって前しか向かなくなってしまった。質問して割とやさしい問題だと気づき、半べそかくくらいの表情でくやしがる。その気持ちと同じ気持ちを、やがて来るだろう、あなたの目の前の子たちに伝えられたらいいよね。その夢実現に向けて、これからもわたしは這いつくばって勉強をします。

どれもこれも、勉強をするってことでは『あたりまえ』。

勉強が楽しいって感じていたら、『あたり前な表情』。

こころがしっかり温まると、ここまで『あたりまえな勉強』ができるのですね。

『どんな勉強でも、続けていると楽しくなるのです。』この一言を言うことが多くなりました。

なぜって、それを教えてくれたのは紛れもないあなた方だったから。　　　　　　ありがとね。

３月の予定

５日（金）　珠算・暗算検定試験申しこみしめきり

１７日（水）～１９日（金）　検定試験実施（KYOWA SCHOOL）

春休みに関しては、別にお手紙をお渡しします。

新学期に向けて、新入生を募集しています。きょうわスタイルの学習やあんざんを、ぜひお友達やきょうだいさんへすすめてください。